

科目名	日常生活活動学 (作業療法) 演習	担当教員	山田恭平※ 佐藤拓也※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	----------------------	------	------------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	3年次	前期	1単位	演習

科目概要	「日常生活活動学（作業療法）」の講義内容を踏まえて、対象者の日常生活活動（ADL）を評価し、治療等を支援していくための技術や考え方について演習を通して理解する。具体的には、寝がえり、起き上がり、立ち上がり、移動や移乗も含めた動作の演習や、食事や更衣動作やトイレ動作等の活動分析方法の演習を通して、日常生活場面におけるアプローチ方法を学習する。また、これらの生活動作を観察して客観的事実として記述し、分析するという過程についても学習する。
学習目標	①ADLの基本となる姿勢、基本動作、セルフケアに関する観察、記録などの演習を通して、具体的な分析・評価や治療/援助の考え方・方法について理解し、実践できる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	ADL評価と治療 姿勢分析	ADLの評価と治療・援助 背臥位、座位、立位姿勢の観察と分析について	ADLの評価、治療・援助の概要を確認する。 実践を通して各体位の観察視点、分析方法について確認、理解する。	佐藤
2	基本動作の分析	寝返り動作の観察と分析	実践を通して寝返り動作の観察視点、分析方法について確認、理解する。	佐藤
3	基本動作の分析	起き上がり動作の観察と分析	実践を通して起き上がり動作の観察視点、分析方法について確認、理解する。	佐藤
4	基本動作の分析	立ち上がり動作の観察と分析	実践を通して立ち上がり動作の観察視点、分析方法について確認、理解する。	佐藤
5	活動分析	活動分析の方法①（概要とADL全般）	活動分析の流れについて理解し、演習を通して分析方法、実践方法を学ぶ。	山田
6	活動分析	活動分析の方法②（食事・整容）	活動分析の流れについて理解し、演習を通して分析方法、実践方法を学ぶ。	山田
7	活動分析	活動分析の方法③（更衣・トイレ・入浴）	活動分析の流れについて理解し、演習を通して分析方法、実践方法を学ぶ。	山田
8	活動分析	活動分析の方法④（更衣・トイレ・入浴）	活動分析の流れについて理解し、演習を通して分析方法、実践方法を学ぶ。	山田
9	活動分析	活動分析の方法⑤（移乗動作）	活動分析の流れについて理解し、演習を通して分析方法、実践方法を学ぶ。	山田
10	活動分析	活動分析の方法⑥（移乗動作）	活動分析の流れについて理解し、演習を通して分析方法、実践方法を学ぶ。	山田
11	活動分析	活動分析の応用①（片麻痺、基本動作）	臨床場面で求められる分析方法や記述方法を学ぶ。	山田
12	活動分析	活動分析の応用②（片麻痺、基本動作）	臨床場面で求められる分析方法や記述方法を学ぶ。	山田
13	活動分析	活動分析の応用③（片麻痺、ADL）	臨床場面で求められる分析方法や記述方法を学ぶ。	山田
14	活動分析	活動分析の応用④（片麻痺、ADL）	臨床場面で求められる分析方法や記述方法を学ぶ。	山田
15	活動分析	活動分析の応用⑤（まとめ）	臨床場面で求められる分析方法や記述方法を学ぶ。	山田

評価方法	実技試験 50%、筆記試験 50%
教科図書	伊藤利之・江藤文夫・編『新版 日常生活活動 (ADL)』医歯薬出版、2010 年
参考図書	齋藤宏、矢谷令子、丸山仁司・著『姿勢と動作 第 3 版』メヂカルフレンド社、2010 年 伊藤利之・著『ADL とその周辺 第 3 版』医学書院、2015 年 日本作業療法士協会・監修『作業療法学全書 改訂第 3 版 日常生活活動』協同医書出版社、2009 年 など
学習の準備	日常生活学 (作業療法)、運動学、人体構造機能学の内容を踏まえた演習になるので、それらの講義内容を復習しておくこと。
オフィスアワー	講義 1 回目のガイダンスで説明する。
担当教員欄に※印を 附した教員の 実務経験	佐藤拓也・山田恭平は、民間病院で日常生活活動における作業療法の実務経験を有しており、その経験を活かして具体的な動作演習や分析方法についてより実践的な指導をすることができる。